

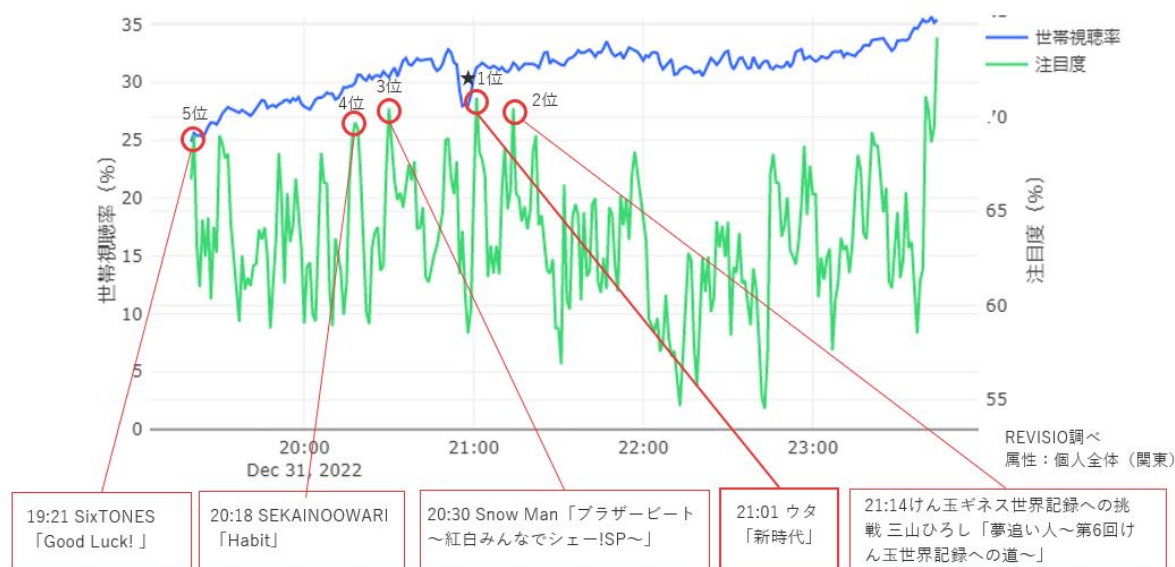
第73回NHK紅白歌合戦 視聴者が最もくぎづけになった 歌手によるパフォーマンスシーンは？

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンの「視られている量」を測るREVISIO株式会社（旧TVISION INSIGHTS、所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下REVISIO）は、2022年12月31日(土)に放送された第73回NHK紅白歌合戦について、「どのシーンが注目されたのか？」を分析いたしました。

今年の番組テーマは、「LOVE & PEACE」で、2年ぶりに東京・渋谷のNHKホールを舞台に、有観客で開催されました。司会は、大河ドラマ『鎌倉殿の13人』で源頼朝を演じた大泉洋さんとフレッシュな印象で起用された橋本環奈さんが務めました。また、スペシャルナビゲーターとして、櫻井翔さんも会場を盛り上げました。

最も視聴者をくぎづけにしたのは、ウタの「新時代」！

第73回 NHK紅白歌合戦 注目シーンは？
(歌手によるパフォーマンスシーン)



※審査シーン等歌手によるパフォーマンスシーン以外はランキングの対象外としております。

年末に放送された第73回NHK紅白歌合戦がどのように見られていたかを、NHK関東の地上波放送かつ個人全体を対象に集計しました。結果として、注目度が高かった歌手によるパフォーマンスシーンの1位から5位は、下記のとおりとなりました。(注目度が高いとは、テレビの前の視聴者がくぎづけになったことを表します)

1位：21時01分 ウタさんの「新時代」

アニメ映画『ONE PIECE FILM RED』に登場したキャラクターのウタさんが、映画の主題歌「新時代」を熱唱したシーン。ウタさんの人気もさることながら、歌唱後、スクリーンに映し出されたイラストにも話題が集まりました。麦わらの一味とウタさんが集合した一枚になっており、ファンからは「泣ける1枚」などの感動の声が寄せられました。

2位：21時14分 三山ひろしさん「夢追い人～第6回けん玉世界記録への道～」

三山ひろしさんが、「夢追い人～第6回けん玉世界記録への道～」を歌唱し、紅白恒例の「けん玉ギネス世界記録」に挑戦したシーン。見事成功し、審査員であるサッカー日本代表の森保一監督とゲスト出演した長友佑都さんも記録成功に、興奮を隠せない場面でした。

3位：20時30分 Snow Manさんの「ブラザービート～紅白みんなでシェー!SP～」

2年連続の紅白出演となったSnow Manさんが「ブラザービート～紅白みんなでシェー!SP～」を熱唱したシーン。最後は、会場全体と一緒に「シェー」のポーズで締めくくるパフォーマンスでした。曲の途中では、メンバーの目黒蓮さんが出演したフジテレビ系ドラマ『silent』を彷彿とさせる手話も見せたりと、SNSでも話題の尽きないシーンでした。

4位：20時18分 SEKAI NO OWARIさんの「Habit」

前日に、初のレコード大賞を受賞したSEKAI NO OWARIさんが「Habit」を披露したシーン。Fukaseさんがバックヤードで歌唱する姿からスタートして、ステージにあがると、NiziUさんや乃木坂46さん、郷ひろみさん、SixTONESさん、JO1さんがバックダンサーとしてダンスを披露するという豪華なステージとなりました。

5位：19時21分 SixTONESさんの「Good Luck!」

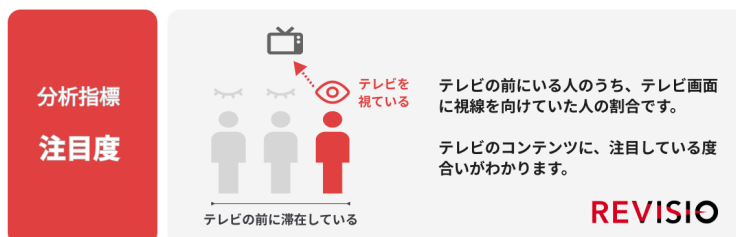
初めてトップバッターを務めたSixTONESさんが「Good Luck!」を披露して、華々しく「第73回NHK紅白歌合戦」が開幕したシーン。「Good Luck!」はメンバーのジェシーさんが出演したテレビ朝日系のドラマ「最初はパー」の主題歌で、華やかな楽曲が開幕に相応しい1曲となりました。

REVISIO計測による世帯視聴率は、後半にかけて上昇しましたが、歌手によるパフォーマンスシーンでは、前半に楽曲を披露した歌手に注目が集まる結果となりました。

※審査シーン等、歌手によるパフォーマンスシーン以外はランキングの対象外としております。

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



<本件に関する問い合わせ先>

REVISIO株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階
E-mail info@revisio.com
Tel (担当直通) 050-5468-2785

【REVISIO株式会社について】

REVISIO株式会社は2022/10/1より、TVISION INSIGHTS株式会社から社名を変更いたしました。人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。ご家庭のテレビに、REVISIOが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、ちゃんと見ているか」というREVISIO独自の注視データを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組の視聴データ、ならびにコネクテッドTVの注視データを提供しています。